

東アジアから見た琵琶湖の船・米原の船



趣 旨

近年、文化庁が調査・研究方針を打ち出した水中考古学をはじめ、文献記録や民俗事例など、広範な「水を巡る文化」への関心が高まりを見せています。昨年度、本市が開催したシンポジウム「都と東国を結ぶ米原～東山道と琵琶湖の道～」では、平安京への遷都により、朝妻湊に代表される米原地域を利用した水運の優位性が高まったことが指摘されました。今年度は、琵琶湖の船・米原の船に注目したシンポジウムを開催します。米原市での水中考古学調査においても、水運の様相を検討できる資料が蓄積しつつあります。さらに、東アジアという視点を変え、琵琶湖、そして米原の水運の歴史を担った船やその特性を検討します。

写真左上から時計回りに：丸木舟・塩津船模型・朝妻湊跡・米原湊本跡・入江内湖古写真・湖底遺跡調査状況
中央イラスト：準構造造船（滋賀県文化財保護協会提供）

2025 7.21 (月)

13時から16時40分まで（12時から受付）

会場：米原市役所本庁舎 コンベンションホール
（JR米原駅東口／米原市米原1016番地）

開会あいさつ 13:00～13:10

【基調講演】 13:10～14:00

申込不要／無料

「船体考古資料からみる東アジアの船舶史」

講 師：東海大学人文学部 准教授 木村 淳 氏

【事例紹介】 14:00～15:40（各30分）

「先史・古代の準構造造船」

講 師：総合研究大学院大学先端学術院 博士後期課程 宮原 千波 氏

「考古・民俗資料から見た琵琶湖の船」

講 師：元神戸学院大学人文学部 教授 用田 政晴 氏

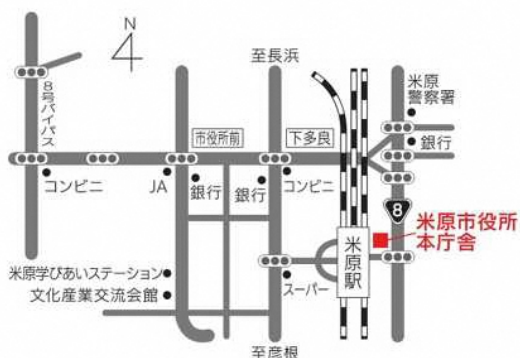
「米原を行き来した船と積載量」

講 師：豊橋市美術博物館 学芸員 中川 永 氏

【トークセッション】 15:50～16:40

「東アジアと日本から見た琵琶湖の船・米原の船」

司 会：フリーアナウンサー 小野 千穂 氏 パネラー：各講師



主催：米原市教育委員会
問合せ先：生涯学習課 tel0749-53-5154 fax0749-53-5129
e-mail: rekishi@city.maibara.lg.jp

